

学年延長(Extended School Year (ESY))とは

特殊教育サービスを受ける生徒の多くにとっては、無償で適切な公的教育を受けるのに、通常の学年度で十分です。しかしながら、すべての生徒がそうだというわけではありません。中には通常よりも長い期間が必要な生徒もいます。生徒の学習のスピードは人それぞれであり、また学習したことへの維持のレベルも異なります。ESY は通常の学年度を超えて提供される特殊教育・関連サービスです。ESY は「個別障害者教育法(Individuals with Disabilities Education Act (IDEA))」の必須部分です。ESY は生徒の「個別教育計画(Individualized Education Program (IEP))」に沿って、家族の費用負担なく無償で提供されます。ESY には学習、関連サービス、課外活動が含まれます。

各学区において、これらのサービスを必要とする生徒に ESY を提供しなければなりません。すべての公立学校（チャータースクールやオルタナティブスクールを含む）が、必要な場合には ESY を提供しなければなりません。

知っておくべき事柄：

各生徒の IEP チームが、生徒に ESY が必要かどうかを決定し、必要と決定した場合、どのようなサービスを受けられるかを決定します。IEP チームが生徒に ESY が必要であると決定したら、次のことも決定しなければなりません。

- どのようなサービスが提供されるのか。
- いつ、どこでサービスが提供されるのか。
サービスの提供頻度はどれくらいか。
- サービスの提供期間はどれくらいか。

IEP チームは少なくとも 1 年に 1 度、各生徒に ESY が必要でないかを検討しなければなりません。生徒各々の個別のニーズを考慮しなければなりません。また、以下の事柄についても考慮しなければなりません。

- 生徒の障害の程度
- 生徒の年齢：
 - その夏の間に 3 歳になる子どもについては、ESY を検討しなければなりません。
 - ESY は生徒が 22 歳になるまで、または通常の高校卒業証書をもって卒業するまで利用 することができません。
- 遅れと取り戻し
 - 学校の休み期間中に生徒のスキルが低下するか。
 - スキルの低下は過度か。
 - スキルの低下は他の生徒で予測されるよりも大きいのか。
 - 生徒は、スキルの低下を取り戻すことが可能か。またどれくらいの期間かかるか。
- 進歩の程度：
 - 生徒は、IEP 目標について進歩しているか。その進歩の程度はどれくらいか。
 - 生徒は IEP チームの期待どおりの進歩をしているか。
 - 生徒の進歩の速度は速いか遅いか。
- 生徒に新しいスキルの出現が見られるか。新しいスキルについて大きな進歩がありそうか。
- 移行ニーズ：
 - 生徒の移行目標または職業的目標を達成するため、ESY が必要か。
- 進歩を遅らせる原因となっている生徒の振る舞いがないか。

ESY を受ける生徒は、IEP チームが実施できる最も制約の少ない環境において教育されなければなりません。学区は、ESY についてすべての範囲の教育環境を提供するプログラムを作成する必要はありませんが、生徒の IEP を実施するために必要な範囲の選択肢を提供しなければなりません。

ESY についての検討と決定については、IEP に記録しなければなりません。この場合の検討とは、毎年新たな検討のことで、過去に生徒が ESY を受けていたかどうかにかかわらず、毎年検討しなければなりません。

ESY は以下のことを意図するものではありません。

- 個人指導やサマースクール、チャイルドケア、情操教育ではありません。
- 特定のグループの生徒または活動に限定されるものではありません。
夏期等、特定の期間に限定されるものではありません。
- 一人の人間による決定ではありません。IEP チームの決定です。
- 1つの方法のみで決定されるものではありません。

ご家族のための助言：

ESY に関する決定は IEP による決定です。保護者もそのチームの一員です。IEP ミーティングや、お子様の IEP の目標について話し合われるその他の学校のミーティングに参加してください。発言したいことを忘れないよう、ミーティングには必ずメモを持っていきましょう。お子様の成績や IEP 目標に対する進歩に関するデータを見直してください。お子様の進歩に関するあなたのデータや書類、情報をお子様のチームメンバーと共有してください。休日や夏休み等、サービスの提供が中断した時のお子様の行動の変化を記録してください。お子様の ESY の選択肢として利用できるコミュニティのプログラムやサービスについてアイデアを提案してください。ESY は自宅や、コミュニティ、学校で提供が可能です。新しいスキルを学ぶ際に妨げとなるお子様の振る舞いについて、IEP チームに相談してください。お子様が病気のために欠席が多かったり、教師やセラピストの欠勤のためにセッションを受けられなかった場合、そのことについて IEP チームに相談してください。それにより学習目標がどのように影響を受けるかを相談してください。お子様が高校生の場合、ESY について話し、移行プログラムや就職、コミュニティへの参加、自立生活に関するお子様の目標に ESY がどのように役立つかについて話してください。データを検討し、チームメンバーとあなたの所見を共有してください。

- お子様は IEP の目標に向かって適切に進歩していますか。
- お子様はスキルを学習しはじめたところで、まださまざまな状況でそれを使用することができない状態ですか。
- データにより、学校が休みの間にお子様のスキルが低下していることが見られますか。
- お子様のスキルが低下した場合、再び学習するまでに非常に時間がかかりますか。
- データにより、お子様が学年度中には IEP 目標を十分に達成できないことが示されていますか。

お子様のニーズについて知っている人と話をしましょう。お子様のことを知っている教師と話をしましょう。休暇や学校の休みの後のお子様が、どんな様子かを尋ねましょう。それを IEP チームメンバーに話してください。注意点：お子様が過去に ESY を受けていたとしても、必ずしも将来もその必要がある、あるいは受けられるとは限りません。また、過去にお子様は ESY を受けていなくても、現在あるいは未来は必要になるかもしれません。ですから毎年 ESY について話し合う必要があるのです。ESY はたとえ受ける資格があったとしても、必ずしもすべての資格のあるお子様にとって正しいとは限りません。あなたのお子様はどうするでしょうか。ESY から得られることがあるのか、それとも少し休む時間を必要としているのか。お子様の ESY に関する決定に異議がある場合、意見の相違の解決のため、調停等の異議解決策を要請することができます。

詳細な情報については以下にご連絡ください。

ペアレント ツー ペアレント オブ ジョージア(Parent to Parent of Georgia)

770-451-5484 または 800-229-2038

www.p2pga.org

Georgia Department of Education 特殊教育サービス支援局

(Division for Special Education Services and Supports)

404-656-3963 または 800-311-3627 に電話し、「特殊教育(Special Education)」に電話を回すよう伝えてください。

http://www.gadoe.org/ci_exceptional.aspx

Georgia Department of Education 実施マニュアル

http://www.gadoe.org/ci_exceptional.aspx?PageReq=CIEXCImpMan

(第2章「無償の適切な公的教育」と第7章「IEP と移行」を参照してください。)

その他の情報源：学区の特殊教育ディレクター (Special Education Director) にご相談ください。